

工藤 保雄 議員



行財政改革推進室 設置の意義について

Q 行財政改革をどのような目的、目標を持って進めるかが、村政の最重要課題である。行財政構造改革「集中改革プラン」の精査状況はどうか？また、行政改革委員会等、各委員会の答申との関連、位置づけについて？

A 住民の方々が分権のもたらす効果を実践できるように行政運営を行うことを目的に、行政改革委員会を設置し、委員会の答申の趣旨を踏まえ、大胆かつ積極的に推進していく。年度中であっても、改革ができるところは即実施していくという決意を持って臨んでまいりたい。

Q 推進室の設置が遅きに失したと思うが、今後、尚強力なリーダーシップが必要と思う。村長の基本的、具体的な考えについて？

A 遅れたことを反省しているが、リーダーシップについては、私が行革部長として強力に進めていく。

環境保全、特に農地 保全と農業者の将来 について

Q 地球温暖化が世界中で様々な影響を及ぼしているのはいうまでもない。南阿蘇村においても水稲の乳白米の増加など顕著に高温障害があらわれている。一方、国の施策にも自然環境における農地の役割が少しは認識されつつある。本村農業の将来の動向と展望、また、その推移の中で果して農地が守れるか？

A 認定農業者を核とした多様な担い手育成と、効率的な農業体制の確立、新規農業者に対する支援・育成を図ると共に、東海大学農学部との交流事業を活用した、高齢者でも作

付けできる作物の導入、地域特産品づくりやブランド化に取り組む。

Q 一方、農業者（特に専業農家）の経営は年々厳しさを増している。様々な要因があるが、農家の自助努力も限界に近い。現況を把握し早急な支援が必要である。新規作物の開発や後継者が残れる環境作り等、具体的支援について？

A 経営感覚に優れた企業家的経営規模を持つ農業者になつていただき、その方々に生産活動の中心となるような生産構造の改革を進めると共に、認定農業者などが安定的な所得を継続して確保できる体制の整備を図っていかねばならない。

自治体セールス (トップセールス)の 現状、成果、課題に ついて

Q この村には豊富な観光資源、物産はもとより南阿蘇村がセールスできるたくさん何かがある。その価値探しを行い、それを村民が共有し発信

する具体的方法、県や国、近隣の都市、大都市に積極的に出向くことの重要性等、現状、方針について？

A 自治体のよさを知ってもらうための重要なセールスポイントは、村に住みたい、訪れたい、セールスをした村であるかどうかと思う。

第一にどうしたら住みよい村になれるか、恵まれた環境の中に村へのアクセスマも整備されてきており、企業誘致をはじめ近隣の工業施設や商業施設のベッドタウンとして期待ができると考える。今後は情報の提供の充実をさらに図っていききたい。

第二にどうしたら訪れたい村になるのか、村は農業を基幹産業に豊かな自然と、温泉などの観光資源に恵まれている。今、村ではこれら資源を生かした農業と観光の村づくりに取り組んでいる。

第三にどうしたらセールスしたい村になれるか、道路事情や空港へのアクセスなど恵まれた環境を活かし、企業誘致の推進や、情報網の整備と合わせて人材交流を今後の課題として取り組みたい。南阿蘇村のブランドが企業のイメージアップに繋がるように、また村の自然や環境を同時に守っていくことも重要な課題と考える。